

第13世界精密鋳造会議

World Conference on Investment Casting

WCIC

2012

会期
4/15(日)~18(水)

会場
国立京都国際会館
(ICC Kyoto)

〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
(正式住所: 〒606-0001 京都市左京区岩倉大鳥町422番地)
TEL: 075-705-1234 FAX: 075-705-1100
●市営地下鉄烏丸線「国際会館駅」4・2出口より徒歩5分

スケジュール

月 日	開催時間	イベント	展示時間
4月15日(日)	12:00~17:00	受付・登録	12:00~16:30
	18:00~20:00	レセプション	
4月16日(月)	8:30~9:00	受付・登録	9:00~16:30
	9:00~15:00	講演会(ルームA) 講演会(ルームA)	
4月17日(火)	19:00~22:00	晩餐会	
	8:30~9:00	受付・登録	
4月18日(水)	9:00~16:00	講演会(ルームA&B)	9:00~15:00
	終日	工場見学: 3コース	

参加申込はこちら ➡ <http://www.foundry.jp/wcic/index.html>

お問い合わせ先

社団法人日本铸造協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 501号
TEL.03-3432-2991 FAX.03-3433-7498 Email wcic2012@foundry.jp

古くて新しい鋳物

第13回 世界精密鋳造会議

アジアからの革新

2012年4月15日(日)~18日(水)
京都市 国立京都国際会館

欧洲においては、ドイツが日本同様の自動車大国を反映して日本と同程度の生産量400万台を維持している。今や中国、インドの2大国で世界の生産量の5割を占めるに至ったが、アメリカ、日本、ドイツのような先進国でも製造業の基盤を支える産業として世

界においても上位の生産

を維持しているのが鋳物産業の特徴といえる。

近年、鋳物産業にとってエネルギー問題が大きな課題となっている。金属性原材料の溶解は、かつてエネルギー問題が大き

てのコーカスを用いるギ

ュボラ溶解から、CO₂排出削減等の環境問題に

対応するために、土・日

電力、東北電力管内で実施された15%電力節減に

電力多消費型

操業、深夜操業さらにグ

ループ内での輪番操業を

実施するなど積極的に節

電に協力している。

精密铸造品は、航空・宇宙、エネルギー分野に

とて必要不可欠な製品を供給している。この精密铸造品に関する国際会議、第13回世界精密铸造会議が12年4月に京都国際会議場で開催される。

この世界精密铸造会議は4年ごとに開催されて

いるもので、アジアでの

開催は今回が初めてであ

り、メーカー、サプライヤーのみならずエンジニア

ーも交えた最新の技

術動向に関する講演や展

示会が開催されるため、

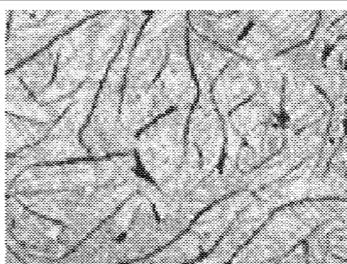
欧米のみならずアジアか

らの多数の参加者が期待

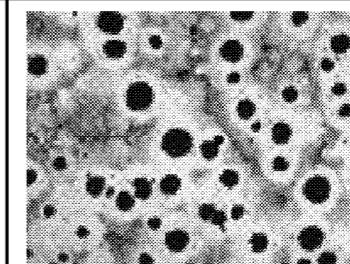
されている。

図4. 銑鉄鋳物の特徴

鋳物の中で最も多く生産されているのが銑鉄鋳物である。この銑鉄鋳物を材質でみると、ねずみ鉄とダクタイル鉄(JIS=球状黒鉛鉄)が主流である。特に、ダクタイル鉄は鋼に近い強さを鋳物にもたらしたという点で、鉄鋼における20世紀最大の発明といわれている。



▲ねずみ鉄



▲ダクタイル鉄

来春、京都で世界精密鋳造会議